

(様式)

## パブリックコメント実施結果報告書

令和4年4月18日

担当課	緑豊かな自然課
担当者	福田
連絡先	0857-26-7978

パブリックコメントのテーマ：第13次鳥獣保護管理事業計画（案）等について

1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民参画協働課・ 総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
( )	( )	36 (5)	( )	( )	( )	( )	36 (5)

2 応募意見の政策案等への反映状況

【第13次鳥獣保護管理事業計画（案）】

対応状況	件数	主な意見
既に盛り込み済み	1	・狩猟免許取得後に、檻を借りられない、設置場所がない等の現状がある。「管理放棄檻」を把握し、希望者がいれば管理を譲ることが出来るような「マッチングサイト」を作ることを提案する。
計	1	

【鳥取県第二種特定鳥獣（ツキノワグマ）管理計画（案）】

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	13	・生息数の推定方法について詳細に記載する必要がないか。 ・東中国地域個体群の個体数水準は安定存続地域個体群にはなっていないのではないか。 ・人の生活ゾーンへの侵入路を遮断する場となる。「緩衝地帯」の設定が必要ではないか。 ・文言などの修正
既に盛り込み済み	1	・錯誤捕獲を発生させないことが大切である。
今後の検討課題	6	・近畿北部・東中国ツキノワグマ広域保護管理指針を添付して欲しい。 ・個体数推定の報告書を添付して欲しい。 ・現保護管理計画について項目ごとの詳しい評価が必要。 ・人身事故の原因を明らかにし被害者や地元伝えて欲しい。 ・人とクマが共存するには、生息環境の整備が大切、山を天然林化してクマの生息地を再生しているのか。
対応できない	6	・狩猟の必要はないのではないか。 ・クマの生息域がドーナツ化しているかどうか調査して欲しい。 ・過去3年間の捕殺数は、捕獲上限数を超過しているため、今後は過去の超過を考慮し捕獲数を減らさないといけない。

		・「ゾーニングの運用」によりクマの捕殺が増えている。鳥取県に限定されず、全ての自治体において見直されるべきものである。
その他上記に分類できないもの	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生息環境が悪化しているのにクマの数が増えるのはミステリー、調査方法に疑問がある。</li> <li>・自然界の中の生き物のある種だけの数を減らすことに疑問をもたないのか。</li> <li>・クマは賢い動物なのでゾーニングの線引きをクマに知らせることが大切。</li> <li>・人とクマが共存するには、生息環境の整備が一番大切、次に被害防除、クマの推移個体数ばかり気にしている管理体制は意味のないことをやっていると思う。</li> <li>・イノシシ等の捕獲は、クマの錯誤捕獲防止のためくりわなの使用を避けるよう指導するとあるのはすばらしい。</li> </ul>
計	35	

3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットで の公表（担当 課による）	報道機関への提 供	県議会への報告	広報紙等への掲 載	関係団体等への 報告	その他
○		○			○